

松本地域戦略会議（第1回）議事録

○ 日 時 平成23年9月1日（木） 午後4時30分から5時25分

○ 場 所 長野県松本合同庁舎 404号会議室

○ 出席者

座 長 北原松本地方事務所長

委 員 菅谷松本市長 小口塩尻市長 宮澤安曇野市長 高野麻績村長 藤澤生坂村長

清沢山形村長 中村朝日村長 宮坂筑北村副村長（飯森筑北村長 代理出席）

鳥海松本保健福祉事務所長 手塚松本建設事務所長 中山安曇野建設事務所長

ワザパー 小林松本広域連合事務局長 小澤中信労政事務所長

小穴松本農業改良センター所長 飛沢中信教育事務所長

1 開 会

（宮島松本地方事務所副所長）

本日は、お忙しい中を御出席いただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから「第1回松本地域戦略会議」を開催させていただきます。

それでは、会議の開催にあたりまして、はじめに北原松本地方事務所長からごあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

（北原松本地方事務所長）

只今、ご紹介いただきました松本地方事務所長の北原と申します。

本日は、第1回目の「松本地域戦略会議」を開催したいということで、お忙しい中をお集まりいただき、誠にありがとうございます。

長野県は信州学を提唱した市川健夫先生が「信州合衆国」と称した様に、地域特性を持った各地域から構成されております。

地域戦略会議は、県内各地域のもつ個性や魅力を活かした政策のあり方・方向性を検討する場として、今年度から県内10の広域圏ごとに設置するものでございます。

松本地域におきましても、この地域戦略会議の場を活用しまして、地域の発展のために、市村と県で連携して取り組む課題等について、検討して参りたいと考えているところでございます。

恵まれた観光資源、信州まつもと空港を要する交通利便性、電機・情報分野などの産業集積等々の地域の特性を踏まえた上で、市村の枠を超えて広域的に連携していく必要のある分野にどのように対応していくべきか、この地域戦略会議での議論によって、お互いに情報を共有し、少しでも地域の発展や課題解決を図ることができれば幸いです。

本日は第1回目の会議ということで、県で考えている戦略会議の概要についてご説明申し上げ、その設置についてお諮りさせていただいたうえで、各市村長の皆様方から忌憚のないご意見を賜りたいと考えています。

結びになりますが、市村と県が一体となりまして松本地域の発展のために取り組んでいくことを、

改めて確認をし、開会に当たってのあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

(宮島松本地方事務所副所長)

本日の出席者につきましては、お手元にお配りした名簿のとおりでございます。筑北村におかれましては、宮坂副村長さんが出席ということでございます。

本日の会議の様様につきましては、後日、地方事務所のホームページに議事録を掲載することとしておりますので、何卒ご了承申し上げます。

なお、議事録を作成する都合上、又、報道席が後ろの方でございますので、ご発言される場合は、お手数でも、マイクをお使いいただきますようお願い申し上げます。

それでは、これより議事に入ります。進行につきましては、北原地方事務所長が務めさせていただきます。所長申し上げます。

3 議 事

(北原松本地方事務所長)

それでは、次第に従い、進めてまいります。

まず、「(1) 松本地域戦略会議の設置について」ご説明をいたします。

(丸山松本地方事務所地域政策課長)

資料に基づいて説明

(北原松本地方事務所長)

説明は以上でございます。ただいまの説明につきまして質問等ございましたらお願いいたします。

(宮澤安曇野市長)

地域ビジョンを作成して、ビジョンを実現するための手段が大切だと思います。もちろんビジョンは作らなければならないが、それをどう実効性の保てるものにしていくかということになれば、当然、予算の裏付けが必要になるわけです。これは単年度決算でありますから、なかなか先を見通した予算というものは大変厳しいものがあると思いますし、また、今、東北地方の財政問題も国会で議論されているところですが、ビジョンを作成できた段階で、年度ごとに実施できる計画というか、見通しを立てられるような実効性のある計画になるのでしょうか。

(北原松本地方事務所長)

知事も言っておりますが、今、パラダイムシフトが起きていて、現状認識をきちんとやりながら、財源調達のことについても考えていかなければならない課題と考えております。この2年間のうちに、中期総合計画を全面的に見直すという形になるかと思っております。その中で、さきほども計画との関係を説明しましたが、来年度、中期総合計画の地域編に我々が要求していく事項が載った場合には、ある程度担保されるような形にならないと計画倒れになってしまいます。そういう意味で、県庁が中央集権的に予算を作るのではなくて、地方分権枠というような発想で考えているので、これからプレゼンテーションしながら、その辺りについても担保できるように地方事務所として全力を尽くしていきたいと考えているところであります。

これまでも縦割りで道路の関係など予算要求してきているところでもありますけれども、それにとどまらない所をどういうするかということも工夫していきたいと考えているところでございます。

なかなか難しい話ですし、これから決めていかなければならない課題が多々ございますので、そういう中で調整させていただきたいと考えております。

(宮澤安曇野市長)

利害関係がぶつかり合うということも各 10 圏域であると思います。例えば、観光振興の課題をとれば、長野県全体あるいは各地域の課題ということに成ろうかと思えます。また、道路網を一つ取ってみても、あちこちで道路をもっと整備しろということになれば、どここの地域を優先していくことになるのか、今の財政状況では全 10 圏域一斉にというわけにはいかないと思う。企業誘致にしても、どこへ誘致をするのか、これも県全体とすれば産業振興で誘致をしなければいけない。とにかく県の政策・ビジョンにどのように乗せて、どのように順位付けしていくかということが大きな課題になると思う。その辺の調整は、最終的に知事部局で、意見を聞いただけで終わらせてしまわないよう、実のあるものにしていただくための具体的な措置がどのようになっていくのかという思いがあります。

(北原松本地方事務所長)

まだ完全に見えているわけではありませんが、地域戦略会議を主催する、総合調整機能をもっている地方事務所長の方に予算の要求権はいただけるという話は、だいたい進行しているようであるので、そういう場を通じて、予算を編成する財政当局へ交渉していくというのが大前提であると思っています。

今回の分権枠の話にしましても、各地域でプライオリティもあるだろうということで、道路整備という意味では、競合することもあるかもしれませんが、それについては今までやってきた中で、収まるものはそういう調整過程を通ると思いますし、そこに収まらないものの扱いをこれからどうするかという検討に入ると思いますので、各地域の連携と競い合いとよく言われますが、そうした中に入っていくのではないかと考えております。

(宮澤安曇野市長)

もう一点。知事の発言や政治姿勢を聞いたり見たりしていますと、各現地機関に一定の権限、財源的なものも持たせたいというようなニュアンスだと私は捉えております。従って、それぞれの地域に相当の権限、ある面では財政的な裏付けを持ってビジョンが実現できるような体制というものを出発段階からきちんと打ち出していただくことも大切ではないかと思えます。意見です。

(北原松本地方事務所長)

わかりました。予算編成権というのは、知事一身に専属している権能でございますので、それを財政当局と地域の現地機関がどういうふうにコラボレーションしていくかという問題になるかと思えますが、その辺についても十分御意見を伝えてまいりたいと考えております。

他にございますでしょうか。

(小口塩尻市長)

ちょっと批判的になってしまっただけで申し訳ないけれども、松本広域連合との関係が正直いまいちわか

らないです。実行体としてのこの会議なのか、それをまとめて県の標準化というか、10圏域ある地域のアンバランスを是正するための意識統一会議なのか。戦略というからには闘うのが組織であって、会議では何も闘えませんから、そこだけが正直鬼門です。そこをスクラップアンドビルドでうまくしていただけたらと思いますけれども、現時点ではそこがあまりうまく見えないものですから。

また、私どもの広域連合の中に似たようなジレンマもあります。松本広域連合は、ゴミ処理と介護保険と消防の3つしかやっていないわけですよ。その枠を広げている広域連合もありますよね。それは即ち実行体なんですね。予算を持って、決定権を持って、またそれぞれのバランスをとりながらやっていっている。それとこれとはおそらく一緒にならないのではないかと。どう逆立ちしても難しいのではないかとということが経験則からわかってしまうので、余計こういう批判的な表現で申し訳ないんですけども。決してこれはいけないという意味で言っているのではなくて、その辺がどんな方向でソフトランディングしていただけたらいいのか。それは2、3年かかるのかもしれませんが。そこもちょっと見えないと真剣に時間を割いてここへ参加しようという気に正直なれない。言いすぎだと思いますが、明確な議論にしたほうが良いと思うので、あえて言っていますけれども、もしかしたら所長さんもそこら辺がわからずに困っておられるのかもしれませんが、私の感覚は、そんなところです。

(北原松本地方事務所長)

御懸念の点は重々承知しているところでございます。例えば、上伊那広域連合のように行政情報システムなど広域圏でかなりのことをやっているところもあれば、松本は先程おっしゃいましたように消防と福祉関係を中心に展開してきたということで、松本広域のほうがこれから広域的な話をしていく場を設けるには、こういうところを使っていただいて、県と市村とのベクトルを合わせて、県が勝手に施策を打つというよりは、市村と連携しながら施策を打っていけるということができればいいなと、今のところはそういう思いでございますけれども、課題の抽出がいずれにしても本当に課題になると思っております。

いずれにしても、全部でベクトルを合わせるというわけにはいかないと思いますけれども、県のやっている行政と市村のやっている行政がうまくコラボレーションできる分野があれば、そこに焦点を当ててやっていくということがひとつの方向性かなというふうに今のところは考えております。これからいろいろなお話を聞く中で抽出せざるをえないと考えておりますので、御理解を賜りたいと思います。

(小口塩尻市長)

具体的に申し上げますと、この戦略会議においてある程度の予算を確保していただいて、それを全部使って鳥獣被害をゼロにしてもらえれば、私たちが県民も万々歳ですけれども、できればそういう形にしてもらいたいという期待を込めて申し上げます。

(北原松本地方事務所長)

鳥獣被害は大きな課題だと、全地方事務所ともそういう考えは持っておりますので、そこら辺を踏まえながら、縦系列でできるものがあれば縦系列で、輪切りの部分があるのなら輪切りと。

それから、地域ごとにプライオリティが違うのではないかとというのが知事の発想でございますので、プライオリティの問題も含めて検討させていただければと考えておりますので、よろしく願いいた

します。

他に御意見はございますか。

(菅谷松本市長)

私も少し厳しいことを言わせてもらいます。地域全体の会議を設置するというのは知事の公約というふうにお聞きしているんですよね。果たして所長さん以下県の職員はこれを本当に知事の意を体してやろうとしているのかどうか。阿部県政が1年経っていますが、知事と県の職員との間の意思疎通がしっかりできているのかどうか。

あるいは、今回もこれは要するにビジョンを作るための戦略会議だとしたら、私たちは非常に忙しくて、会議は時間の無駄というぐらいにまで思ってしまうんです。非常に忙しいですから。だからこれをどういう位置づけにするのかということが見えていない。むしろ、地域ビジョンといっても、他の県に比べると、長野県は御承知のとおり広域連合が非常に進んでいるんですよ。日本で一番ぐらいです。ですから非常にまとまっているし、もう地域ビジョンというものはできているはずなんです。だからやってきたんですよ。何でまた地域ビジョンを作れと、これは非常に疑問であります。資料にありますように松本広域連合でも広域計画ができています。ひとつのビジョン的なものなんですよね。むしろ各所長さんが知事ところに行って、ここの広域はこういうビジョンですということをしゃべってくれば良いと思うんですよ。もう大体できているわけですから。これはただ単に言葉だけなんです。私は政（まつりごと）というのは結果を出さない限り評価されないと。ですから今、図らずも鳥獣被害のことを言ったけれど、県ももう少し現場に来て、そして鳥獣被害でみんなこんなに困っているんだということを知って、むしろ予算付けしていったほうがずっと意味があると思うものですから。形じゃなくて実のあることを是非とも進めてほしい。

むしろ、阿部知事のビジョンを早く出してほしい。そこから進めていかないと、何だか阿部知事は地域の声、地域の声と一生懸命に言っていて、この前も市長会で、町村会もそうだけれども知事はそれぞれの首長さんの声、意見を聞きたいとおっしゃるけれども、もうそろそろそれはいいから知事は御自分の阿部カラーで、こういうふうに行くぞと、こういう方向に行くんだとか、ソフトだとかハードだとか、あるいは経済だとか観光だとか、福祉だとかいろいろあるんですけども、そういうものを出してもらわないと。先程、安曇野市長さんもおっしゃったように、最後は予算付けですよ。

しかも、地域ということになると、これは松本広域を地域とおっしゃるんですか、それともここに8人の首長さんがいらっしゃるから、それぞれみんな「オラこういうものをやってもらいたい」というそういう地域なのか、その辺について、所長さんのお考えを教えてください。

(北原松本地方事務所長)

鋭い指摘でございますが、今考えているのは8市村を構成団体とする松本地域の、松本広域圏で共通して取り組む課題があって、県の施策とこれがコラボレーションできる分野があれば、これをきちっとやっていきたい。

地方事務所長と知事との懇談がありまして、予算の提案権についても胸を割って話をするという時間があったわけですが、これはまだ完全に決まっているわけではなくて、みなさんと更に詰めていきたいということではありましたが、県で一元的に予算を管理していることによって財政の硬直化というか、決め方がある程度決まってしまうところがあるけれども、地域の課題はそれに留まらないだろうと。地域という輪切りの中で必要な予算があれば、それは何とかできるようにすればいいなという

考え方です。

我々所長達の話しの中では、県というのは、財政当局で今まで予算算定をしているという形をとってきていますので、地域の課題については、建設事務所なり保健福祉事務所なりが縦系列で、財政当局あるいは主管部局と予算の調整をしながら、地域の課題を持ち上げて予算を編成するという過程を取ってきた訳でございますけれども、総合行政という地方事務所が行ったとしても、最後は、そういう因数分解のような形の予算になるのか聞いたところ、知事としては、そうばかりではなくて総合的な予算のつけ方もあるかもしれないと、そこら辺を検討して行きたいという話だったものですから、いろいろ所が細部まで詰まっていないこともあります。地域の声を聞きたいというか、地方事務所長の考えであるとか、広域の皆さんの考え方を色々議論していただいて、本当に必要な物については予算を要求していくし、縦割りでいける物は縦割りでいくというのも選択肢であると思います。

鳥獣対策については、今のところ林務部、あるいは農政部が主導的にやっておりますので、林務・農政部局と調整しなければいけないとは思いますが、声が大きということについては、春の地方事務所長会議の時にも、知事もその場に出ておまして、10 地方事務所長とも鳥獣被害の話は出しておりますので、国の予算が削られたというのが、どうしても大きな原因ではあると思っておりますけれども、その中で精一杯やっていきたいと、県だけでできるわけでも無いので、財源確保をまず十分しながら対応していきたいということだと思っております。今のところ、その程度しか、私どもからは申し上げることが出来ません。

戦略会議を無駄なものとしないように、どういう風にやったら良いのかは幹事会も作りますので、その辺りも含めて課題を抽出して地域にメリットのあるような形を取りたいと考えているところでございます。他に質問等ございますでしょうか。

それでは、特に他には無いようでございますので、松本地域戦略会議の設置についてお諮りいたします。資料 1 の「地域戦略会議の設置について」はお示しした案をお認めいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(市村長一同)

異議なし

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。それでは、「地域戦略会議」の設置について(案)を削除して頂きまして設置ということにさせていただきます。

続きまして、今の内容を踏まえて、資料 2 の松本地域戦略会議設置要綱につきましても、お示しました案でよろしいでしょうか。

ご意見が無いようでございますので、施行期日を本日平成 23 年 9 月 1 日として、松本地域戦略会議設置要綱(案)の案を削除してください。

ありがとうございました。

ただ今、ご承認いただきました資料のとおり松本地域戦略会議を設置・運営してまいりたいと思っております。いただいた意見を十分踏まえながら、検討・調整に入っていきたいと思っておりますので、何分のご協力をお願いしたいと思っております。

続きまして、次の議題「その他」に移ります。

本日は各市村長の皆さまにお集まりいただいております。松本地域の進むべき方向性や地域の特性を踏まえて、当面検討すべき課題等について、お考えがございましたら5分程度の時間でございますけれども、ご発言があれば、お出し頂きたいと思っております。

(小口塩尻市長)

来週か何か、各首長が出席して知事と語り合う会がありますよね。

(北原松本地方事務所長)

10月23日です。

(小口塩尻市長)

それは簡単に言えば、このメンバーの他に知事が加わるだけです。

(北原松本地方事務所長)

その他にも県議会議員の方が加わります。

(小口塩尻市長)

確か、土日のどちらかではなかったですか。

(北原松本地方事務所長)

日曜日です。

(小口塩尻市長)

あれだけ忙しい知事に日曜日に出てもらって、価値あるものかどうかとも併せて検討してもらった方が良くと思います。価値あるものなら私達は色々言える立場でございますので、首長として、いつでも出席しますけれども。

(北原松本地方事務所長)

元々、昨年度から始めていた地域の市町村長と膝を交えて話をするという一環の中でやっておりまして、昨年4か所で実施し、3月に震災があったことなどもあり、今年残りの6か所で実施させていただくものでございます。

戦略会議の議論、もちろんその中身に触れていただいても結構でございますけれども、色んな話しを忌憚なくしたいというのが知事の思いですので、それはそれで別途設定させていただきました。

日程調整については、お忙しい首長さんばかりでございますので、やむを得ず日曜日ということになってしまいましたけれども、是非ご協力をお願いしたいと考えております。

これからの課題等について、ご意見等ございましたら、我々だけでも気付かない点もございますので、忌憚なくご意見を出していただければと思います。

それでは朝日村長さんよろしいでしょうか。

(中村朝日村長)

ご指名でございますので、松本広域、この松本平で、今までも取り組んできていますが、もっと力を入れていって欲しいという私の希望を申し上げます。

今年は、東日本大震災から始まって、私達の地元にも地震と被害が及んでいます。こういう時に、一番辛いのは、大災害があると陸の孤島になってしまうということです。これはもう明らかですから、そういった意味では、今まで中部縦貫等取り組んでいただけていますが、県内でも中南信のインフラ整備が非常に遅れていますので、これは重点的に取り組んでいかないと本当に災害が起きた時どうするか、これは非常に大きな課題であります。そういった意味でも強力に進めていただきたい。

道路整備は、長野県は全国ではワースト3ぐらいの状況です。そういった認識も含めて、長野県の場合は、とにかく山間地ですから、全ての所で道路網が大事な分野であり、しかも、これは生活道路でありますので、重点的に是非取り組んで欲しいとお願いしたいと思っております。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。それでは、生坂村長さんお願いします。

(藤澤生坂村長)

8 市村の中で一番小さな生坂村でございます。少子高齢化が顕著でございます。昨年の国勢調査では、2,000人を切り、1,953人ということで、過疎化が止まらない現状でございます。そういう中でどうやって人口を維持していくかということで、第五次総合計画の中で、今村政運営をしているわけでございますけれども、地域発元気づくり支援金を頂戴いたしまして村民の皆さんと協働による村づくりということで、一生懸命に地域や村を守っていきこうと頑張っているところでございます。是非、元気づくり支援金の継続をお願いして、元気をもって村づくりをしていきたいと思っております。

それから、先ほど減災・防災の件もございましたが、我々は、中山間地域で急峻な地形で、脆弱な地質でございます。そういう中で治山、治水、砂防事業の工事もしっかりとしていっていただきたい、災害に強い県土づくりということからも大事であると思っております。そういう中山間地域の安心、安全な生活を守っていただくためにも、生活道路の整備をしていただかなくてはなりませんし、その工事もしっかりとお願いしたいと、そういうことで要望になってしまいましたが、私の意見でございます。よろしく申し上げます。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。それでは、筑北村の副村長さんお願いします。

(宮坂筑北副村長)

確かに、大災害があったら大変な地域でございます。道路網というのは一番大切なものですので、手塚（松本建設事務所）所長さんにはいろいろお世話になっておりますけれども、引き続きよろしく願いいたします。

先ほど、市長さんからご発言がございましたけれども、我々東筑はいよいよ5村になってしましまして、我々の機能からしますと、広域連合に、もう少し機能していただければなあという感じを持っています。特に、今、災害の話がありましたが、大きな災害に対する広域応援体制、県と市町村との協議の場で確認されているようでございますけれども、その辺も、各自治体だけでやっているのでは

なくて、広域的にやることも一つ、この際お願いしたいと感じております。

もう一つ広域的な面から、観光について、メジャーなところばかりに行くのではなく、日を変えて、田舎体験というのもございますので、その辺ももう少し広域的にやっていただきたいという感じがしております。

いずれにしても、広域対応した方が、発展性があり、財政が有利になる施策もあると思いますので、もう一度、皆様の知恵をお貸しいただければと思います。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。それでは、山形村長さんお願いします。

(清沢山形村長)

既に村長たちがお話しましたように、生活道路網整備の充実、それから治山、治水、砂防の対策等につきましても重ねてお願いしたいと思います。

それと、今、放射能の人体予防対策として、安定ヨウ素剤について、飯山市ではすでに対策したということですが、松本市も今度予算に盛るといってお聞きしたわけでございます。我々も9月の補正予算でどうかということ、実は、住民の中から松本市もそういうことで対策として予算に盛るといって、村も何とかしてもらえないかという声があるわけございまして、今朝も管理職の皆さんと話した中で、こういうものは県の方で何とか対策していただければ、私ども小さな村としては、有難いと思ったしだいでありまして、要望になってしまいましたが、よろしく願いいたします。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。それでは、麻績村長さんお願いします。

(高野麻績村長)

それぞれ話が出ておりますので、私は特に違った観点から述べさせていただきたいと思います。

特色ある松本地域をこうつくってほしいな、計画の中に入れてほしいなとこういうふうに思っております。広くは日本、日本の中で長野県、そして長野県の中で松本地域はどんな色なんだろうと、その辺がですね、特色のある松本地域ができれば嬉しいと思います。

具体的に言いますと、美しい自然、清らかな水など、こういったものは、ここは日本一なんだというように、なにかそういったものがあればいいなと、それからこの地域の非常に特色がある歴史、他にはない歴史があり、そして文化があります。これらの保存というような観点が新しい計画の中へできていけばいいと、そんなふうに思っております。これらは、この地域皆さんに共通するものでありますし、ここにしかない、そして今残さなければいけないものがたくさんあるんじゃないかとそう思っております。

それから、さらに、いろいろ課題が出ましたが、我が村においては、特に中山間地方というのが本当にこのままでいいのかとっております。しかしこういったものは、小さな村単独では、どうしてもだめだろうと思ひます。気象条件とか、地形、地域としてどうやっていくかと、このようなことをですね、こういった中で検討されればありがたいと、そんなことを願っております。私の方からは以上です。

(北原松本地方事務所長)

市長さん方で、今までの話をお聞きされた中で、何かご意見ございましたらお願いいたします。塩尻市長からお願いします。

(小口塩尻市長)

いずれにしても、やはり無駄なコストを掛けられる時代ではないということは、共通認識だと思いますので、ダブらないように補完しあって、この部分は、もしかしたら従来の枠でいけば県の分野あるいは市の分野だったところだけでも、ちょっと枠の線を変えてみましょうというような形も、是非せっかく作る会議なので前向きにとらえて、そんな方向で進めてもらいたい。

そんな中で、私は最たるものは、先ほど申し上げました鳥獣被害、命にかかわることといえば、多くの皆さんが申された、放射能とか地震など大事でしょうが、直近で一番、昨日突っていたリンゴが、今日無いというのは、やっぱり市民感覚からすると許されないことなので、その辺が、なかなか一自治体では難しいので、垣根があって猟師が動けるわけではありませんので、その辺をしっかりともらえれば、県民も一生懸命県民税を納めようと思うのではないかと思います。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。松本市長さんお願いします。

(菅谷松本市長)

やはり各市町村が自立してやっていくことが大事であって、依存しあってはいけません。ですから、松本の場合でも自立してやっていかなければいけない。それが成熟した社会じゃないかと私は思っています。街づくりにおいては、大変厳しい状況ですし、それぞれが生き残りをかけてやっているわけですから、その中に当然お互いにバックアップしながら支えあう、これは共通してやらなくてはいいませんが、全てにわたってそういう訳にはいかないだろうと、そして、各市町村、皆財政が厳しいですから、そういう中で、それぞれの自治体が特色出すには、それぞれのトップが「俺はこれで行くんだ」とやらないと、なかなか上手くいかないだろうと思っています。

また、知事との懇談会で話しますけれども、私として一つだけ申し上げたいのは、松本県営空港を県がもう少ししっかり取り組んでいただかないと、私はいつも誤解されて、松本空港は松本市の市営空港だと思われて非常に迷惑を被っている訳です。これは我々も税金使っているのですが、これは県営空港ですから県が主体性を持って、お金を払って、そして長野県全体で造った空港で、県民税を相当払った訳ですから、それに対して長野県全体でやるんだという、そういった動きを積極的にやっていただかないと、FDAもこれからはどうなるかわかりませんから、是非ともよろしく願いいたします。以上です。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。安曇野市長さんお願いします。

(宮澤安曇野市長)

個別の課題は沢山ありますが、今後また会議の中で色々をお願いしていきたいと思っています。長野県全体として危機管理意識を持った取組をしていただきたいと思います。過日、県の市長会がございま

した。放射能の汚染がどの様になっているか分からない中で風評被害等も出ておりますし、市民の皆さんの不安というのが大変あります。私どもの市も菅谷市長さんをお招きして講演会等をさせていただきましたが、こういうことはあってはいけないのですが、万が一の場合、隣の新潟県には柏崎原発、静岡県には浜岡原発があって、必ずしも長野県が安全圏にあるとは言えない。そういった時の危機管理体制というものを県全体としてもっと積極的に取り組んでいただかなければならないような気がします。

それとやはり観光振興等と結び付けて、今、松本市長さんがおっしゃいましたように松本空港をもう少しジェット機も小型になって性能が良くなってきているということなので、国際的な空港にするような形で、海外からの観光客を呼び込むような体制づくりというものが今後必要かなと思っています。

それから、これも佐久市等が取り組んでいますが、長野県は水源県だと言われています。私どもの市も地下水をどのように守っていったら良いかということ、今回の東北地方の震災でも真っ先に被災地に求められたのは水だったということでありまして、この水をいかに守っていくかということが、今後この地域において求められるかと思えます。私どもでは地下水条例をつくりたいという取組をしておりますが、なかなか一市町村だけでは困難な課題でございますので、広域的に県のご理解をいただきまして、県からも積極的に関与していただきたいと、この様な思いでございます。

申し上げたいことは沢山ございますが、この程度にまとめさせていただきます。

いずれにしてもビジョンを出したら、絵に描いた餅に終わらせないように実効性のあるこの会議の在り方、そして予算付け等をしっかりしていただきたいと思えます。

(北原松本地方事務所長)

ありがとうございました。予算の地域分権枠的なものを提唱したということは、今までの予算編成方針を少しずつ変えていこうということでもあると思えます。

今、それぞれの市村長さん方からいただきましたご意見を十分踏まえ、県の方にも繋いでいったり、検討して松本地域の発展に資するように、我々も最大限の努力をしていきたいと考えております。

内容が多岐にわたっておりますので、全てコメントするわけに参りませんが、これから松本地域戦略会議では、振興策等を含めて、今お出しいただいたような点も、どの様に整理したらよいか、こちらの方で練り直して皆さんにご説明をさせていただきたいと思っております。

首長さんたちに集まっていたくのは、なかなか時間的にも日程が合いませんので、今後、幹事会で具体的な議論を進めていきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

【一同異議なし】

それではよろしく申し上げます。

幹事会でございますが、来年度予算の編成が間近に迫っているということもございまして、10月には重点事業のヒアリングが始まるという中で、我々といたしましても準備はある程度急いでいきたいと考えております。

地域戦略会議の意見を今回全て反映させるという訳にはいかないと思えますが、県のタイムスケジュールにも従いながら、松本地域としてやっていきたいこともございまして、その幹事会を9月を目途に開催させていただきたいと思えます。

今後とも、市や村の皆様のご理解ご協力をお願いします。貴重な時間を費やしていただき、ありがとうございました。本日予定した議題は以上でございます。どうもありがとうございました。

4 閉会

（宮島松本地方事務所副所長）

冒頭、申し上げましたとおり、本日の議事録を作成し、皆様方にもご確認いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。